

教育

健康づくりの推進といじめや不登校について

村野 由紀子

Q 滋賀県大津市で昨年10月いじめを受けた中学2年生の生徒が自殺した問題をきっかけにいじめは大きな社会問題として関心が高まっています。学校におけるいじめや不登校の実態とその防止対策について

ハードの両面から取り組んでいる。

Q いじめられている子、いじめられている子、いじめを知っている子、全ての親御さん等が本当に気楽に相談できるような更なる整備体制を図っていただきたい。教育長に伺う。

A

箱根町では、月3日以上欠席児童・生徒を毎月教育委員会へ報告している、欠席日数の多い児童・生徒は教育支援室が中心となり、学校や保護者への支援をしている。現在では不登校は0となっている。

本年度、いじめとして報告があったのは3件。早期に状況を把握すると同時に教員のチームを立ち上げて共通理解を図り指導したところであり、現在は収束している。

いじめを防ぐために、子どもたちと触れ合いながら観察したり、Q U調査、アンケートの実施をするほか、校舎内外の巡視等ソフト・



企画

四期目に出馬表明した山口町長の政治姿勢を問う

山田 和江

Q 神奈川県臨調より、県有施設すべての廃止、移譲または独立採算や受益者負担による財政負担軽減策等の中間意見が黒岩知事に提言され、市町村財政に及ぼす影響は多大だと思われませんが、当町への影響や対応は。

A

市町村行政に大きな影響を及ぼすため、知事には市町村の意見を提出する機会の確保と意見を尊重すること、また県と市町村が協議するための体制を整備するよう強く申し述べた。当町としても行財政運営や町民生活への影響が極力小さいものとなるよう県と町と一緒に議論し、結論が出せるよう行動したい。

Q 宮城野保育園存続と中央地域幼児学園の見直しについては、両地域から陳情と請願が議会で採択されたことを理由に、両地域で協議をしようというので、今日まで来ているが、宮城野保育園存続を表明す



宮城野保育園

Q 脱原発自然エネルギーへの転換についての取り組みと、当町における自然再生エネルギー政策の進め方について。

A

再生可能エネルギーについては、箱根町第5次総合計画後期基本計画において、新たな施策として位置付けている。普及促進と有効活用に向けて積極的に取り組みたい。

べきではないか。両方の地域から異なった請願、陳情が出され、色々な意見がある中で、地域の意向等を無視して実行するつもりはない。結論が出ないうちは宮城野保育園と温泉幼稚園を存続させていく考えている。

企画

町長の町政運営について

沖津 弘幸

Q 公共施設における統合の方針及び推進について

A

公共施設配置研究会を中心としたその時々課題を調査・研究し、その結果に基づき対応している。旧仙石原中学校跡地活用においても、プロポーザルによる事業実施は、大きな成果であると思っている。出張所においては、移転・統合も考えられるが、利便性の確保やクリアしなればならない課題もある。統合後の学校跡施設や未利用町有地の有効活用など、できるものから効率的な活用を努めている。施設の老朽化による大規模修繕や建て替え時期等の問題も充分踏まえ、全庁的に、しかも経営戦略的な視点に立った上で、施設のあり方について検討していきたい。

Q スポーツ観光の考え方と取り組みについて

A

当町では、以前から箱根町の観光資源を活かしたスポーツイベントが、民・官問わず開催されている。また、正月の風物詩である東京箱根間往復大学駅伝競走も、箱根の山が舞台となっているからこそ、人気があるという面もあると思う。

当町は、他の観光地にはない自然資源を豊富に持っているため、その特徴を活かしたスポーツであれば、スポーツ観光の目標に合致したものとなり、観光振興にも寄与するものと考えられる。新しい魅力づくりの一環として、スポーツを活用した施策の展開を位置づけているので、積極的に取り組んでいきたい。

当町では、以前から箱根町の観光資源を活かしたスポーツイベントが、民・官問わず開催されている。また、正月の風物詩である東京箱根間往復大学駅伝競走も、箱根の山が舞台となっているからこそ、人気があるという面もあると思う。



旧仙石原中学校